

香川支部第2期保健事業実施計画の変更について (データヘルス計画)

令和元年7月22日

上・中位目標及び事業の変更について

協会けんぽの第2期保健事業実施計画のうち、データヘルス計画については、各支部において、加入者が直面する健康課題に対して、上位目標(10年後を目途。重大な疾病の発症を防ぐ)、中位目標(6年後を目途。検査値等を改善)を立て、その達成に向けた保健事業を計画することになっています。

香川支部においては、糖尿病の重症化予防策を推進することにより、「糖尿病の一人当たり外来医療費を全国平均以下にする」を上位目標、「空腹時血糖・HbA1cの検査結果を全国平均以下にする」を中位目標として掲げ、7つの保健事業および下位目標を計画しておりました。計画策定にあたっては、日頃行政と連携して活動していることなどから、県民病ともいえる糖尿病の対策を第一と考えて上位・中位目標を設定する一方、これまで取り組んできた保健事業等について、達成すべき下位目標値を設定した上で継続することとしていました。

このたび、本部から、「7事業および下位目標の中には中位・上位目標の達成に繋がらないものがある」、「全国順位でなく絶対値を目標とすべき」といった指導を受けたことから、以下のように修正することといたします。(赤字箇所を追記)

●第2期計画(平成30年度～令和5年度までの6か年計画)

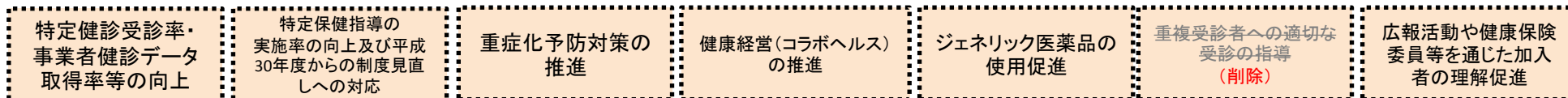
上位目標【重大な疾患の発症を防ぐ】(10年以上経過後に達する目標)

- ・保健指導及び早期受診並びに継続的な受診による重症化予防等を推進することで、糖尿病の一人当たり外来(入院外)医療費を全国平均以下にする
- ・糖尿病の有病者数(毎年3月診療分のレセプト)を増加させない

中位目標【検査値等が改善する】(6年後に達成する目標)

- ・空腹時血糖・HbA1cの検査結果平均値を全国平均以下にする
- ・空腹時血糖126mg/dl(無い場合はHbA1c6.5%)以上の有所見率(27年度5.7%)を増加させない

◀ 7事業 → 6事業(1事業減) ▶



下位
目標

下位
目標

取組

取組